



豊かな心を持ち 生き生きとたくましく 共に学び合い高め合う子

松ヶ崎だより

学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40

TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



平成31年 3月 19日

京都市立松ヶ崎小学校

校長 北川 知世

子どもと共に育む
京都市民憲章



京都はくみ憲章
社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

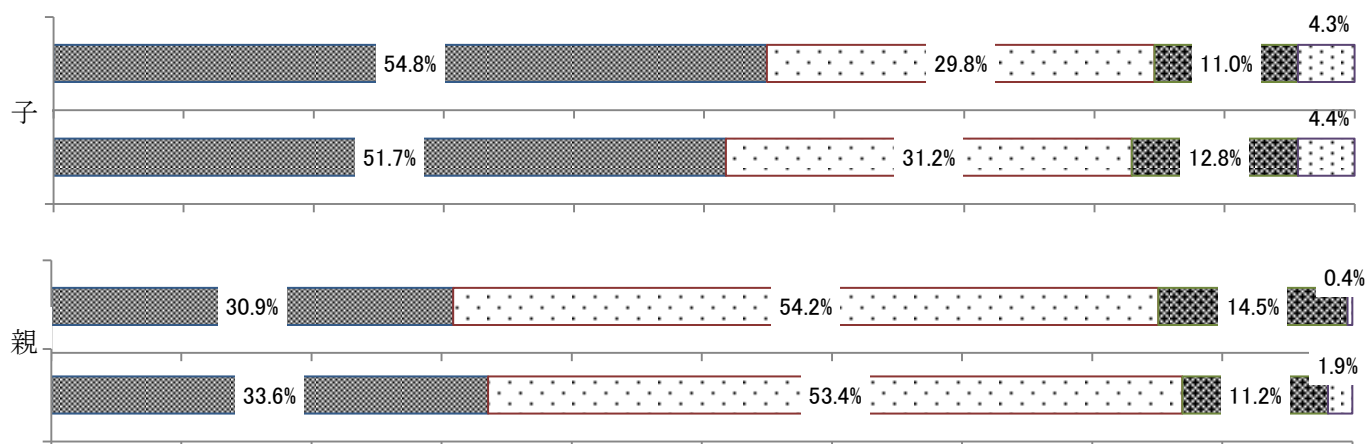
平成30年度 第2回学校評価アンケートの結果

12月実施の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からの回答率は89.0%（第1回は91.4%）でした。児童へのアンケート結果と合わせて、整理、分析したことをお伝えします。

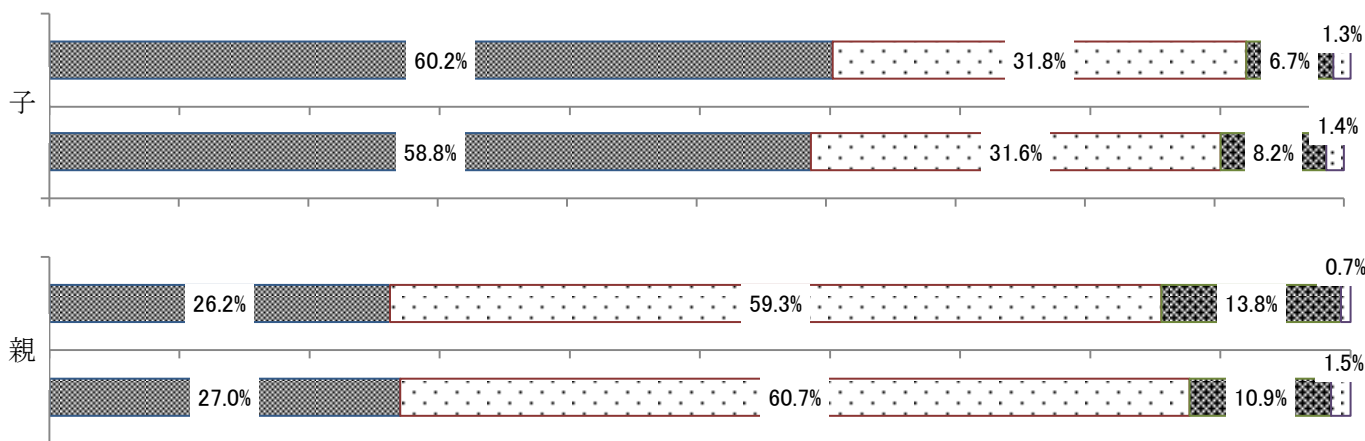
子ども、保護者ともに1段目は前期のアンケート結果、2段目が今回のアンケート結果を表しています。左から「よく出来ている」「大体出来ている」「あまり出来ていない」「出来ていない」の順に並んでいます。

確かな学力の育成

① 学習することが楽しい。【子】 / 子どもは、学ぶことの楽しさを感じている。【保護者】



② 授業がよくわかる。【子】 / 子どもは、基礎的な学力を身に付けている。【保護者】



①②とも、保護者アンケートの結果は肯定的な回答の割合が増えているのに対し、子どもアンケートの結果は肯定的な回答の割合が減っています。第1回のアンケートよりも肯定的な回答が減ったということには、学習する内容がだんだん難しくなってきたということが関係しているのかもしれませんが。

一方で、「授業はよくわかるものの学習することは楽しくない」と答えている子どもたちもいます。学習内容は理解できるけれど学習することの意味が見いだせなかったり、共に学ぶことのよさを実感したりできていないのかもしれません。

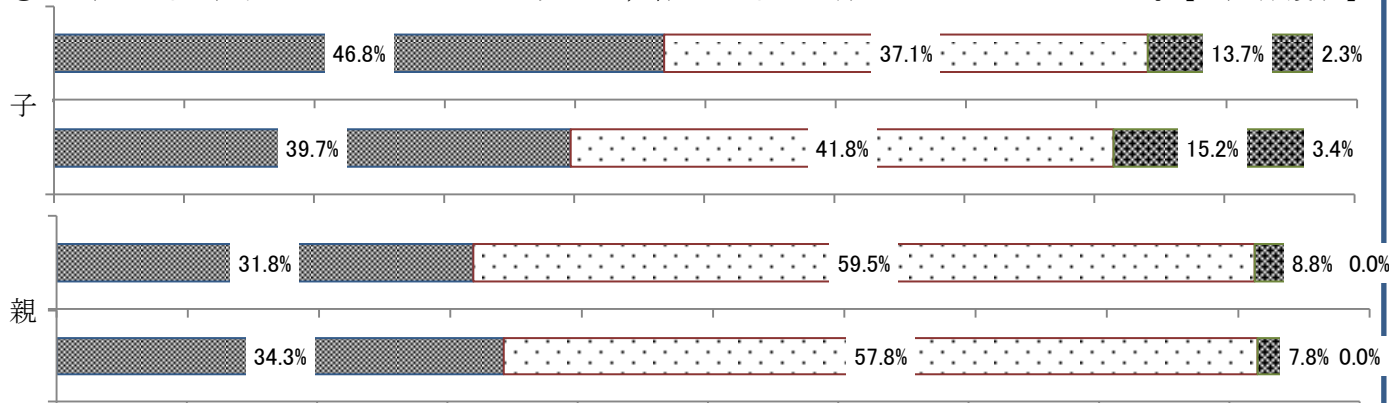
学習することが楽しく、 授業がよくわかる 77.8%	学習することは楽しくない が、授業がよくわかる 12.6%
学習することは楽しいが、 授業がよくわからない 4.8%	学習することが楽しくなく、 授業がよくわからない 4.8%

学級が「学ぶ集団」として成長していれば、たとえ学習内容が難しくなっても、学習を積み重ねるたびに、子どもたちは共に学ぶことの楽しさやよさを実感できるようになるはずです。そのような学級では、子どもたちがお互いの考えを聞き合い、つなぎ合いながら学習を進めていくことができるので、学力も向上します。

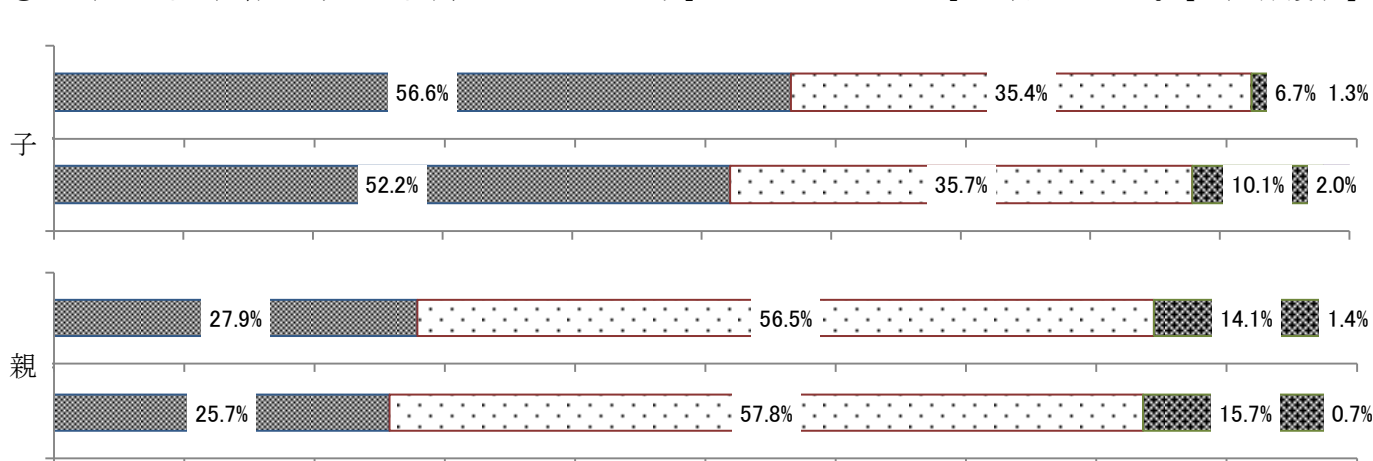
子どもたち全員が「わかった」と実感できるような授業に向けて、教員の授業力をさらに高めていく必要があります。同時に、共に学ぶことのよさを実感できるような学級づくり、そのための学習規律やルールの定着にも力を入れる必要があると考えています。

豊かな心の育成

③ (子どもは) 友だちのよいところを見つけ、誰とでも力を合わせてがんばっている。【子／保護者】



④ (子どもは) 誰に対しても素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」を言っている。【子／保護者】



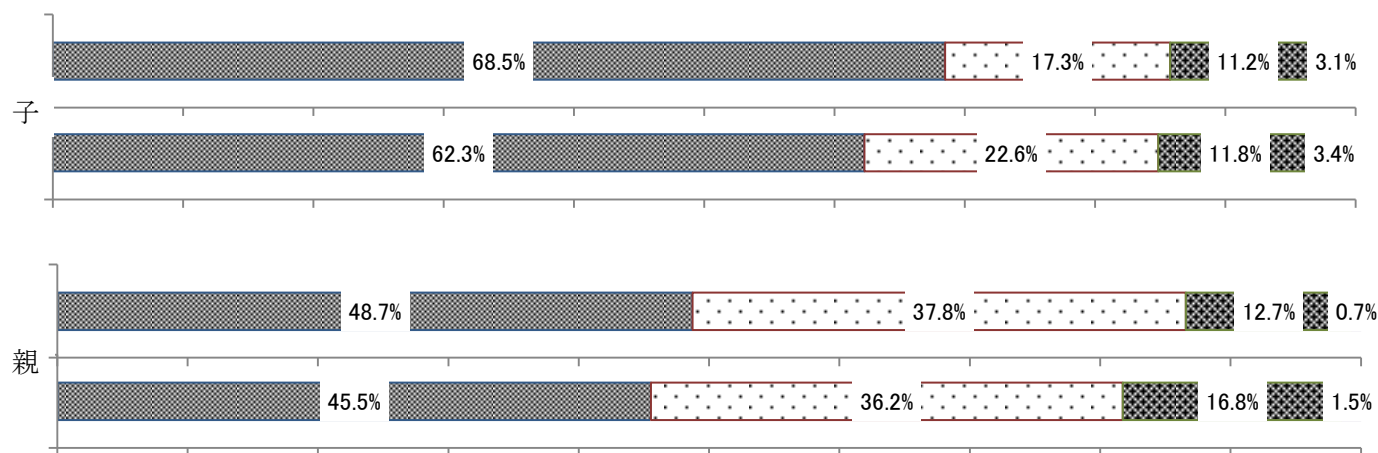
③④とも、子どもアンケートの結果は肯定的な回答の割合が減っています。

人のよいところを見つけることや、誰とでも力を合わせることで、素直に「ありがとう」や「ごめんなさい」が言えることは、自分と異なる立場の人と協働的に問題を解決していくうえで、重要なことです。協働的に問題を解決していく力は、これからのますます必要になると新学習指導要領も捉えています。

学校では、協働的に問題を解決していく経験を積み重ねることを通して、他者を思いやり誰とでも力を合わせたりすることのよさを子どもたちが実感できるようにしていきます。ご家庭では、素直な心をもつことや言葉を大切に使うことなどを意識していただけるとありがたいです。

健やかな体の育成

⑤ (子どもは) 外遊びなどで進んで体を動かしている。【子／保護者】



子ども、保護者ともに肯定的な回答の割合が減っていますが、「みんな遊び」の時間をつくっている学級もあり、休み時間にはたくさんの子子どもたちが運動場で体を動かしています。

学校の取組について

学校の取組については、下の表のような結果になりました。「子どもたちが互いに学び合い高め合う雰囲気をつくっている。」という項目は、他の項目と比べてAの割合が少なくなっています。雰囲気という抽象的なものでなく、子どもたちの具体的な姿を通して判断していただけるようにする必要があります。

質問項目	A	B	C	D
教員は、子どもの力を引き出すことを心がけた授業をしている。	42.3%	55.1%	2.3%	0.4%
教職員は、子ども一人一人を理解し、大切にしようとしている。	48.9%	47.7%	3.0%	0.4%
学年や学級の取組は子どもがお互いのがんばりを認め励まし合えるものになっている。	44.0%	51.5%	4.1%	0.4%
学校は、子どもたちが互いに学び合い高め合う雰囲気をつくっている。	36.4%	56.1%	6.4%	1.1%
学校・学年・学級の方針や取組の様子をよく分かるように伝えている。	42.3%	54.3%	3.0%	0.4%
学校は、整理整頓された学習しやすい環境になっている。	44.9%	52.8%	2.2%	0.0%
学校は、授業参観や懇談会に、多くの人に来てもらえるように働きかけている。	42.7%	51.2%	5.2%	0.7%
学校は、家庭や地域と積極的に連携して活動している。	43.8%	51.3%	4.9%	0.0%

※ A「よく出来ている」／ B「大体出来ている」／ C「あまり出来ていない」／ D「出来ていない」

学校での子どもの様子や本校の教育活動全般について

ご意見をいただきありがとうございました。記名していただきました保護者の方につきましては、個人懇談会にてお話をさせていただきました。いただきましたご意見をもとに、よりよい松ヶ崎小学校を目指して取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

◇ 学習発表会について

「学年や学級に応じたテーマに向かって取り組む中で、団結力や一体感、やり切ることの素晴らしさなど、学び多い学習発表会であった」というご意見も、「もっと子どもたちの感性を信じて、彼らの情熱を引き出すような発表に感動したいと思う。難しいことをつめこませるのはやめて、自発的でイキイキした子どもたちの姿を見たい。」というご意見もいただいています。授業だけでなく学校行事においても、子どもたちにどのような力をつけるのか、そのためにどのような取組をするのかということを確認にして取り組んでいきます。

◇ 子どもの様子について

参観日に行けないので、少し不安とのご意見や「高学年になり、（他の子どもも含め）学校での子どもの様子が分かりにくくなっている。」とのご意見、「子どもの良いところだけでなく、トラブルに発展しそうなこと、足りないと思われることも教えていただきたい。」などのご意見をいただいています。ご家庭と連携していけるように、お便りや連絡帳、個人懇談の機会などを活用していきます。

◇ 授業について

「授業参観では、先生の工夫と充実した内容にいつも感心させられます。」とのご意見をいただきました。いつでも、どの学級でもそのような授業を実現できるよう、今後も、学校全体としての授業力アップに取り組んでいきます。

◇ 緊急メールについて

「高野のイズミヤでの事件のときの連絡メールが遅すぎたことに不安を感じた。いち早く連絡が入るように関係各所に伝えてください。」とのご意見をいただきました。関係各所に伝えるとともに、今後も関係各所との連携を密にしていきます。

◇ 環境について

「いつも綺麗な花が咲いている花壇なども子どもたちによい影響を与えていると思う」とのご意見をいただきました。今後もそのような環境を保てるようにしていきます。

◇ アンケートについて

「このアンケートは必要ですか。」とのご意見をいただきました。アンケートを実施することのよさを実感していただけるよう、アンケート項目や整理、分析の仕方についても検討していきたいと考えています。

3月6日に開催しました学校運営協議会理事会で、第2回学校評価結果を報告し、理事の皆様によりご意見をいただきました。コミュニティ・ニュースでお知らせしていますので、お読みください。